

関西ライフイノベーション 戦略推進地域

関西ライフイノベーション戦略プロジェクト
—持続可能な先進的創薬・医療技術開発拠点を目指して

参画機関 (太字はプログラム実施機関)

産…大阪医薬品協会、大阪商工会議所、
神戸商工会議所
学…**大阪大学**、**神戸大学**、**大阪市立大学**、
先端医療振興財団
官…大阪府、兵庫県、大阪市、神戸市
金…池田泉州銀行、三井住友銀行
支援機関…千里ライフサイエンス振興財団

地域イノベーション戦略

関西が有するライフサイエンス分野の高いポテンシャル(基礎および臨床研究力、医療関連の産業力)を活用した革新的医薬品や医療機器の事業化ならびに再生医療・先制医療の実現化を目指して、科学技術・産業の両面にわたる総合力と国際競争力の強化によりライフイノベーションを推進し、健康な長寿社会の実現に貢献します。本事業では、がん・難病治療薬、ワクチン、再生医療の事業化に向けた研究開発とイノベーション人材の育成に取り組んでいます。



プロジェクトディレクター
岸本 忠三

略歴：大阪大学医学部教授、医学部長、総長、内閣府総合科学技術会議議員等を歴任。
現(公財)千里ライフサイエンス振興財団理事長。

関西地域の強みであるライフサイエンス関連の研究機関、医療機関、企業の高いポテンシャルを活用し、地域が一体となって革新的な医薬品や医療機器・医療技術の開発に取り組めます。これにより、がん・難病などの病気の克服や予防、QOLの向上に貢献するとともに、日本の成長エンジンの一翼として科学技術・産業の両面にわたり国際競争力を高めていきます。

事業の内容

【全体計画及び成果】

地域の重点領域(がん・難病治療薬、ワクチン、医療機器、医療技術、健康科学、先制医療、再生医療)で優れた研究シーズを生み出す研究者の集積を進めるとともに、知のネットワークを拡充して、若手の有望研究シーズの発掘機能も高めつつ、産業への「つなぎ」を促進します。このため、産業および医療の視点から様々な支援を行うと同時に、人材育成機能を強化し、高度研究設備や開放型設備・機器の活用を促進して、研究成果実用化の総合的能力を高めます。

これまでに、機器共用化メニューを活用して三次元生体モデルや医療機器等3製品が上市されました。研究者集積メニューではPET薬剤の臨床研究が開始されたほか、近く新規アジュバントの臨床試験の開始も予定されています。

【実施する支援メニュー】

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積
(実施機関：大阪大学、先端医療振興財団)
8名の若手研究者を招へいし、下表の研究テーマで研究成果の事業化に取り組んでいます。
2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施(実施機関：大阪大学・神戸大学・大阪市立大学・先端医療振興財団)
連携して、地域に必要な「高度な専門知識を備え、研究成果をイノベーションへと実践する人材」を7つのプログラムにより体系的に育成しています。
3. 大学等の知のネットワークの構築
(実施機関：千里ライフサイエンス振興財団)
地域連携コーディネータを中心に、事業化に向けた研究進捗の管理・支援、国内外の企業間アライアンスの推進等に取り組んでいます。
4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化
(実施機関：神戸大学)
最新の創薬研究機器および医療機器を共用機器として地域企業に開放し、創薬・医療機器開発を支援しています。

「研究者の集積」研究テーマ 一覧

研究テーマ	招へい研究者	研究代表者	事業化目標
腸内フローラ操作による免疫疾患の新規制御法の開発	大阪大学大学院医学系研究科 特任助教 倉川 尚	教授 熊ノ郷 淳	自己免疫疾患抑制プロバイオティクス
中枢神経疾患による後遺症を改善する抗体治療薬の開発	大阪大学大学院医学系研究科 特任助教 永敷 隆秀	教授 山下 俊英	脊髄損傷等中枢神経機能改善薬
Wntシグナル関連分子を標的とした抗腫瘍剤の開発	大阪大学大学院医学系研究科 特任助教 原田 武志	教授 菊池 章	がん転移抑制剤
アミノ酸トランスポーターを分子標的とする新規作用機序の抗腫瘍薬の開発	大阪大学大学院医学系研究科 特任助教 兼田 加珠子	教授 金井 好克	新規メカニズムの抗腫瘍薬
アジュバント研究開発	大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任准教授 黒田 悦史	教授 石井 健	新規アジュバント
肝臓ステージを標的とした新規抗マラリア薬の開発	大阪大学微生物研究所 特任助教 岸戸 寛徳	教授 山本 雅裕	新規抗マラリア薬
新規PET薬剤の合成法と品質管理法の研究開発	先端医療振興財団・先端医療センター 主任研究員 相田 一樹	部長 千田 道雄	PET薬剤調剤合成装置
脳卒中患者に対する再生医療開発とその普及促進	先端医療振興財団・先端医療センター 研究員 鈴木 育浩	部長 田口 明彦	幹細胞分離デバイス 細胞治療法



手術支援ロボット(ダヴィンチ)を用いた手術の技術実技トレーニング風景